

1年生 国語科

単元名 本はともだち ずーっと、ずっと、大好きだよ

単元目標

- 物語の好きな場面を探しながら読み、その様子を人物の行動や会話を基に想像する。
- 物語の内容を自分の体験や読書経験とかかわらせながら読み、本についての自分の思いを絵カードにまとめて紹介する。
- 本の小箱（絵カード）を使って、自分の考えをもち、自分の言葉で紹介する。
- 本を楽しんで読み、好きな本を見つける。

展開

- 1 「ずーっと、ずっと大好きだよ」を読み、エルフの様子の変化と、僕の気持ちを読み取る。（5時間）
- 2 発展学習（6時間）
自分のお気に入りの本を選び、本の小箱（お話たまたまこ）を作り、友だちに紹介する。
 - ① 教師と学校図書館支援員が自分の作った本の小箱をもとに本の紹介をする。（ゴールを見せる）
＜箱に入れるカードの例＞
 - ・主人公などの登場人物 ・登場人物がもっているものや大事なもの
 - ・登場人物が行く場所、住んでいるところ ・繰り返し出てくるもの
 - ・好きな場面の説明と好きなわけ＜箱のふた・周り＞
 - ・題名・作者名 ・お話に出てくるものなどをはりつける
 - ② 紹介したい好きな本を選ぶ。本は絵本書架から選ぶが、ブックトラックに1年生に読んでもらいたい本も人数分用意しておき、本を選ぶのがむずかしい児童の援助をする。
 - ③ 本の小箱作り。絵カードはそれをもって話せるようにわりばしをつけてペーパーサートのような形にする。何を選ぶか選択することで、物語の基本構造を押さえながら読むことになる。発表することを意識して作成する。
 - ④ 発表するためのワークシートを作成する。以下の内容。
 - ・題名・作者・登場人物・あらすじ・お気に入りの場面・そのわけ・そのヒント例
 - ・こんな感想のことばを使ってみよう（やさしい・しんせつ・あたたかい・ゆかい・わらえる・たのしい・あかるい・あたまがいい・ドキドキする・ふしぎ・かなしい・かわいそう・おそろしい・こわい・さびしい・どきんとする・じんとくる・げんきがでる・ほっとするなど）
 - ⑤ まず学校図書館支援員の前で、次に教師の前でとひとりずつ、本の小箱を持って実演しながら紹介する。絵カードは段ボールで作った簡易舞台にさしながら、ワークシートに頼らず自分の言葉で紹介できるよう練習する。班で発表。何も見ないで発表する。その方がいきいきした発表になる。
 - ⑥ 班の代表がクラス全員に発表し、全体で交流する。本のおもしろさや、紹介のよさを話し合う。
 - ⑦ 友だちと本を交換して読みあう。本の玉手箱は展示する。

参考図書『小学校国語科言語活動パーフェクトガイド1・2年』

水戸部 修治編著 明治図書

お話たまたまばこ
児童たちの作品

